

研究者紹介 私の研究

理工学
研究部

理化学グループ

ほらぐち としひる

洞口 俊博 研究主幹

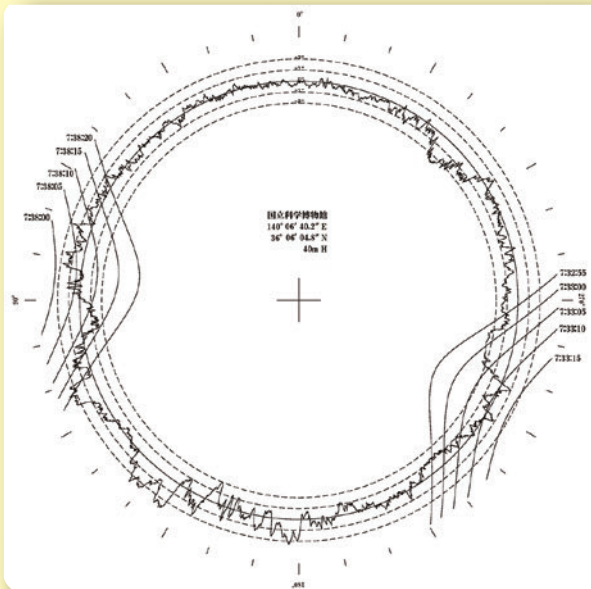
『2012年5月金環日食』



国立科学博物館

2012年の5月21日、私はこの日を子どもの頃から首を長くして待っていました。当時の私にとって、それははるか未来のできごとでしたが、それがとうとう今年やってきました。

国立科学博物館の筑波実験植物園には、夜の天体観望公開のために天体望遠鏡がおかれています。私たちはこの望遠鏡を使って、2つの観測プロジェクトに参加しました。1つは日本国内の複数箇所でも同時に撮影を行う教育用の静止画撮影、もう1つはGPSの時刻と日食を同時に録画記録することによって太陽と月の接触時刻を正確に測定し、太陽の直径を求めることを目指すビデオ映像の撮影です。



筑波実験植物園研修展示館屋上における金環日食時の月縁のようす。
右下の曲線と左の曲線はそれぞれ第2接触、第3接触時の各時刻の太陽の縁の位置。
月縁の凹凸が強調表示されているため、太陽の縁も内に凸になっている(実際は外に凸)。
(提供：国立天文台 相馬充)



第2接触(金環食の始まり)のようす
撮影日時：2012年5月21日 07:33:10 JST
撮影地：筑波実験植物園研修展示館屋上
(東経：140°06'40\"/>

右上の写真は、5月21日7時33分に撮影された日食の画像です。このような写真が全国から集められ、地域による日食の見え方の違いを示す教育アニメの作成が行われています。この画像を見ると、太陽の光の環が右下で2か所切れているようすがわかります。これは月の山によるもので、左下の予想図と比べると、非常によく一致していることがわかります。ビデオ観測のデータは、この時のようすをより詳しく調べるため、現在解析が進められているところです。

研究員に聞いてみました！

1) 専門は何ですか？

太陽のような星はガスでできています。私の専門は星のまわりのガスを観測して調べることです。

2) 研究者になろうと思ったきっかけは何ですか？

子どもの頃から図鑑を見るのが大好きで、特に天文の図鑑と人体の図鑑が私のお気に入りでした。大学受験のときにどちらに進むか少し悩みましたが、やっぱりいちばん好きな天文を選びました。

3) 最近の研究活動で、最も興味深かった出来事は何ですか？

日食の観測に限らず、天文学会のジュニアセッションでは高校生たちがさまざまな研究発表を行っています。カメラやソフトの進歩によって、高校生でもすばらしい研究ができるようになってきました。

4) 研究者になりたい方に一言アドバイスを！

これについてはまわりの誰にも負けないぞ！という得意分野や技術を身につけましょう。



理工学研究部